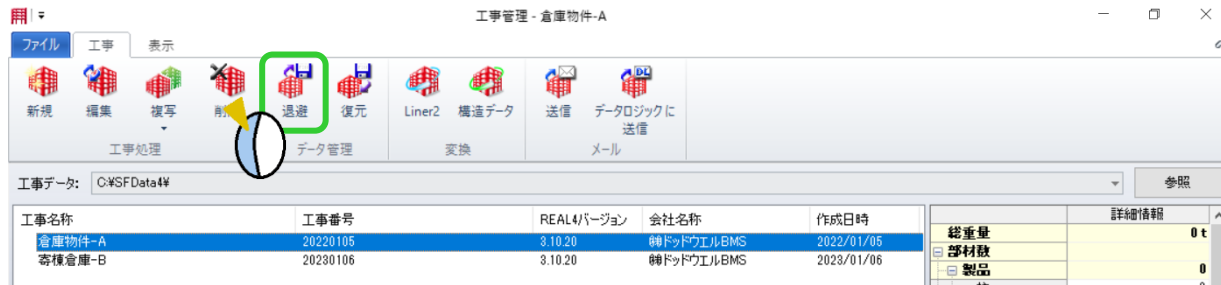


# REAL4のデータを他社に送りたい！ 工事データの圧縮を行います。

【工事管理】で工事データを選択し、【退避】をクリックします。

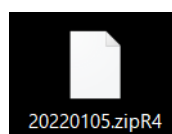


参照をクリックしてデスクトップなど保存先を指定します。

退避方法は『工事番号で1圧縮ファイルにまとめて退避』を選択し、【退避】をクリックします。



退避した工事データは『工事番号.zipR4』という拡張子のファイルになります。



退避データのファイル名を変更する場合は、エクスプローラーで変更しても REAL4 では反映されず、退避時の工事番号で表示されます。工事番号を変更される際は必ず【工事管理】 - 【編集】で行ってください。



自動登録データ、符号管理の履歴データ、見積積算データを含めて退避した際、ファイルサイズが大きくなる場合がありますのでご注意ください。

符号管理の比較データ、符号管理の保存データ、管理資料連動データは、【工事】 - 【分割】を行ったデータを退避する際、データを軽くするために☑を入れます。（☑を入れると退避データに含みません。通常は☑を外しておきます。）